

弓道・競技力向上への取り組み ～地の利を活かす～

弓道専門部 埼玉県立栗橋北彩高等学校 田島健男

1. 埼玉県高校弓道の現状

県内では男子78校・女子82校の高校が弓道部を有している。弓道部員数は約3400名であり、全国で2位である（全国合計は約67000名）。弓道が非常に盛んな県である。

2. 弓道競技について

弓道は的までの距離で、近的競技（28m離れた36cm的）と遠的競技（60m離れた100cm的）に分けられる。ほとんどの大会は近的競技である。遠的競技は国体競技の中で遠的の部があるほか、遠的専門の大会（紫灘旗全国高校遠的弓道大会）がある。

また、団体戦（3人1チーム、もしくは5人1チーム）と個人戦にわけられる。通常の競技では中りか外れかだけを判断し、的のどこに中ろうと差はない。

3. 競技力について

今年度、インターハイでは草加西高校が女子団体が7位入賞。東日本大会でも川越総合高校が男子3人制優勝、坂戸西高校が女子5人制優勝と結果を出している。

さらに近年、遠的競技での活躍がめざましい。遠的大会の全国大会・紫灘旗での結果は以下の通りである。（高校略）

平成29年：男子5位 浦和・5位 坂戸西

平成28年：男子準優勝 浦和・5位 岩槻商業・男子5位 川越総合・男子5位 坂戸西
女子準優勝 大宮光陵

平成27年：男子準優勝 坂戸西・男子3位 浦和北・男子3位 寄居城北
女子優勝 岩槻商業

以上のように全国の上位をほぼ埼玉が占めている。

4. これまでの競技力向上への取り組み

今回は全国でも成功している遠的競技についての取り組みを紹介したい。

成功の一番の要因は設備にあると考えられる。埼玉県の県立武道館には全遠的の的を3つおける弓道場を備えている。これは全国でも非常に珍しく、遠的の練習を推進するには非常に効果的である。

そして遠的大会のシーズン前には、遠的射場を弓道専門部として道場を借り、全ての学校に解放している。その際、道場には常任委員が常駐し、遠的指導が困難な学校には指導の手助けをすることもある。

このように、埼玉県として遠的競技を伸ばしていこうとする流れがあり、それによって成績を残すことができている。

これは「全国でも珍しい遠的射場を活用した」結果であり、埼玉県が誇る道場を利用した、「地の利を活かす」競技力向上方法である。

5. 今後の課題

課題では近似的競技を伸ばすことが重要である。

近似的競技は、

①上位大会で入賞はあるが、全国大会（インターハイ・全国選抜・国体）の優勝はしばらく無く、上位大会に進出してからの力の発揮という面で課題が残る。

②弓道は高校から始める生徒ばかりである。そのため初歩的な部分から全て教えていかなければならないが、弓道未経験の顧問が多く、弓道の作法に関して指導できない部分が多い。未経験である顧問へのフォローが課題である。

6. 課題に対するアプローチ

①上位大会での戦いについて

現在、埼玉県高体連弓道専門部では他県との交流事業を行っている。

「栃木遠征」、「三県ジュニア強化練習会」、「近県から高校を招いての交流大会」である。上位大会で結果を残すためには上位大会に近い緊張感での練習を何度も経験することが重要である。特に弓道は精神面の影響が非常に大きく、「場慣れ」する機会が多いほどよい。強豪校は他県の有力校と練習試合を多数組み、「場慣れ」の機会を非常に多く作っている。上位大会で結果を出すためには県全体の底上げが必要であり、県として交流授業に取り組んでいる。

②未経験顧問へのフォロー

未経験の顧問にはまず、「弓道の作法」が大きな壁となる。そこで大事なことは弓道連盟との連携である。弓道連盟と高体連弓道専門部は連携をとっている。その中のひとつが弓道連盟講習会である。年に何度か支部ごとに開催されており、そこで弓道連盟から派遣される高段者の先生方に「弓道特有の作法」や「射技」を指導していただいている。弓道連盟の方から生徒への指導ではあるが、顧問も共に聞ける環境であり、特に弓道未経験の顧問には良い機会となっている。

また、弓道の指導者がいない高校には「外部指導者」として連盟から指導者を派遣していただくことも可能で、そういった面でも非常に助かっている。

弓道は「武器」を扱う競技であり、安全面にも注意しなければいけない。専門の先生に安全面の注意を聞けることも重要なことである。

7. まとめ

競技力を高めるためには、環境整備が非常に重要であると感じる。各都道府県にそれぞれの環境の特徴があるが、他県より優れている部分に力をいれ伸ばしていくことが全国でも活躍することに繋がる。

「弘法筆を選ばず」ということわざもあるが、やはり道具や設備を整えることは非常に重要であり、これは高校一校一校にも言えることであろうと思う。生徒を伸ばすためには道具の調達も顧問の重要な役割であろうと感じる。